

代表者名	加沢 潔	所管部課名	産業経済労働部観光課
所在地	横手市赤坂字富ヶ沢62 - 46	設立年月日	平成5年5月18日

【沿革及び県の出資理由】

本県の文化遺産の継承、新たな郷土文化創造拠点として、また新たな観光拠点として、この二つの機能を十分に生かし相乗効果による県民文化の向上と地域産業の振興を図ることを目的に県等の出資により設立。

【出資者】(21年度当初)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	250,000	50.5
市町村	4	69,000	13.9
その他	27	176,000	35.6
計	32	495,000	100.0

【事業】

主たる業務

秋田ふるさと村の管理運営

事業実績

事業名等	18年度	19年度	20年度
入村者数	706,318	729,342	720,760
入-初什城	104,776	114,244	111,892
かまくらシアター	35,621	36,658	32,817

20年度事業概要及び21年度事業計画・目標

平成20年度は、岩手・宮城内陸地震の風評被害などにより県外団体客が前年比83.7%まで落込み、物産販売や食事利用の売上に大きく影響しました。しかしながら、年間を通して開催した様々なイベント等の効果により、集客目標の72万人を達成しました。また、収支についても単年度黒字を計上しました。平成21年度は「B-1グランプリ」など大規模イベントを開催する他、施設環境やサービスソフトの充実などにより、利用者からさらに支持・活用される秋田県観光の拠点として、その役割を果たして行きます。
<平成21年度集客目標=75万人・経常収益目標=26,700千円>

【組織】

運営機構



役員数 (H21.7.1現在) (人)

	取締役	監査役
常勤	2	
内、県退職者	2	
内、県職員		
非常勤	7	1
内、県退職者		
内、県職員	1	
計	9	1
内、県関係者	3	0

職員数 (H21.4.1現在) (人)

正職員	18	正職員平均年齢	正職員平均勤続年数
内、県退職者		37.3歳	11.9年
出向職員			
内、県職員			
臨時・嘱託	12		
内、県退職者			
計	30	正職員平均年収	3,360千円
内、県関係者	0		

役員報酬支給対象者数	3人
役員報酬支給対象者平均年齢	67歳
平均役員報酬額	3,400千円/年

【財務】

損益状況 (20年度)

	金額
経常収入 A	533,531
受託事業収入	261,311
補助金収入	0
自主事業収入	264,448
運用益収入	0
その他	7,772
経常支出 B	489,265
人件費	106,334
その他	382,931
経常損益 C = A - B	44,266
経常外収入	0
経常外支出・諸税	20,338
当期損益	23,928

財務状況 (20年度末)

	金額	構成比
流動資産	355,773	62.3
固定資産	215,669	37.7
資産計	571,442	100.0
流動負債	89,727	15.7
短期借入金	0	0.0
固定負債	0	0.0
長期借入金	0	0.0
引当金等	17,477	3.1
負債計	107,204	18.8
資本金	495,000	86.6
剰余金	30,762	5.4
資本計	464,238	81.2
負債・資本計	571,442	100.0

県の損失補償額	県の債務保証額
---------	---------

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	13,177	13,177	100.0%

【県の財政支出】

	18年度	19年度	20年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費	276,590	269,771	260,482	秋田ふるさと村維持管理等業務委託、ふるさと魅力発信事業
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	18年度	19年度	20年度	18-19増減	19-20増減
健全性	自己資本比率	%	80.66	77.45	81.24	3.21	3.79
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	327.40	302.58	396.51	24.82	93.93
収益性	剰余金(欠損金)	千円	76,790	54,690	30,762	22,100	23,928
	経常利益率	%	5.65	7.72	8.30	2.08	0.57
	総資本利益率	%	6.33	7.32	7.75	0.99	0.42
発展性	経常収入額	千円	581,587	539,133	533,531	42,454	5,602
効率性	総資本回転率		1.12	0.95	0.93	0.17	0.01
	職員1人当たり経常収入	千円	20,771	19,255	17,784	1,516	1,470
	人件費比率	%	16.91	18.80	19.93	1.89	1.13

2 経営目標の達成状況

経営目標			18年度	19年度	20年度	21年度
経営改善指標	当期利益(千円)	目標	8,792	10,626	9,899	14,151
		実績	13,589	22,100	23,928	
事業成果指標	売上高人件費率(%)	目標	16.3	16.3	16.3	19.1
		実績	17.1	19.0	19.9	
事業成果指標	自主事業収入(千円)	目標	292,643	300,010	297,555	263,488
		実績	297,721	262,820	264,448	
事業成果指標	入村者数(人)	目標	760,000	790,000	720,000	750,000
		実績	706,318	729,342	720,760	
	顧客満足度指数	目標	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

経営環境の極めて厳しい中、年度の集客目標と利益目標を達成できた事は、経営ノウハウとして蓄積したいと考える。今後も営業集客活動と効果的な広告宣伝、イベント等の実施により、リピーターの確保と新規目的客の掘り起こしを図りたい。ここ数年、経営の第一課題は早期の累積赤字解消である。このため受託事業収入及び自主事業収入が年々減少する中、収益確保のために大規模リニューアル等の必要性を検討する一方、現有施設を活用して新たな収益を生み出す施策実施が必要となっている。

<顧客満足度調査の結果を受けて実施する取組>

告知媒体とエリアの見直しによる広告効果の追及をする。また情報チラシを3ヶ月ごとに作成し中期的な情報提供と効果的な集客に努める。アンケートとその回答の開示により信頼を深め、さらなる満足度の向上に努める。

4 総合評価(計算書類等の資料及びヒアリングによる評価)

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
<ul style="list-style-type: none"> 地震による風評被害等の厳しい経営環境の中で、入村者数72万人を確保し、当期利益23百万円を計上できたことは高く評価される。 業務委託料を含めた営業収入が減少傾向にあるが、業務委託費、諸経費を節減したことにより、前年度並みの営業利益を確保している。 累積赤字の解消を第一の課題としてきたため、改善すべき問題も生じているが、広告、イベント等の工夫により、集客力を高める安定した経営が期待される。 	